

## 恵庭市総合計画審議会教育福祉部会（会議記録）

会議名	恵庭市総合計画審議会教育福祉部会 第3回 会議	
日時	平成17年6月1日(水)15時00分～16時28分	
会場	市役所(3階)301・302会議室	
出席者	委員～出席8名 市側～竹村企画財政部長、斉藤企画財政部次長、西埜管理課長、 津川図書課長、吉田主査、佐々木主査、山口主事	
記録	氏名	企画財政部企画調整課 主事 山口 晃弘

### 1.開 会

### 2.審議事項

- (1) 基本構想検討案(基本構想前段部分)について
- (2) 基本構想検討案(政策目標と体系)について

### 3.その他

### 4.閉 会

#### ○ 会議の概要

（島田委員） それでは審議会の第3回教育福祉部会を開催します。議題は、前回審議した基本構想検討案。尚、前回、担当する分野については、ひと通り議論が進んでいますが、本日は、改めて22ページの「子育て支援」の分野と「児童福祉」の分野について議論を深めたいと思います。また、午前中に地域振興部会が行われています。その際、地域振興部会が担当することになっていたP46ページの「男女共同参画」、「国際交流」についての分野について「教育福祉部会」での議論が相応しいのではないかとこの意見が出されたことから、当部会に審議が委ねられたので、本日は、この項目についても議論の対象とします。その後、各論に入る前に軽く触れていますが「将来のまちの姿」について議論を深めたいと思います。まず、目標11番の「次世代育成支援施策を推進します」から入ります。「えにわっこプラン21」の策定に関わっている佐々木委員からお願いしたい。

（佐々木委員） 「えにわっこプラン21」の策定に関わってきましたが、その中で分かった事が、実は事業メニューとして提案したものの内、恵庭には元々あって既に取組まれているものや、考えられていたものが結構ありました。札幌市でも取組んでいない事業もあつたりするわけです。ですから、PRされていないので知られていなかったり、上手く活用されていなかったわけです。しかし、中には全道に先駆けてやっているものもある。例えば「ブックスタート事業」なんかはそうです。今年の3月に計画書が出来上がり、検討組織も解散していますが、後はこのプランに掲げられている施策をどれくらい具体化できるか、予算化できるかという点が問題になると思います。この計画を実効性のあるものとするためにも、総合計画で後押しをしていく必要がある。

(齊藤次長) 「えにわっこプラン21」に盛り込まれているメニューの内、既に17年度に前倒して取組まれている事業もあります。例えば、「子供の居場所づくり」は進めております。しかし、これらの事業は単年度では終了しないので、第4期総合計画の中で主な施策で載ってくることになると思います。後は、保育園の整備計画ですとか、これは保育園の維持や大規模な改修も含めて各園で整合性を図りながらとりながら進めていくことになる。

(島田委員) 「えにわっこプラン21」を見ていくと、目標12の「地域におけるさまざまな子育て支援サービスを充実します」とか、13の「子どもや支援を要する家庭への取り組みを充実します」にも関わると思うが、審議会としても、プランをベースとした新たな考え方も付け加えていくのも良いのではないかと。

(鏡委員) 佐々木委員から指摘がありましたが、確かに、既にあるのに機能していなかったというものが多そうですね。このプランで上手く活かしてもらえればと思う。

(中村委員) 少子化の問題ですが、ここに出てくるのはやはり生まれてからのことが中心になってます。ですが、今、結婚しないといったところまで、進んでいると思います。子どもができると、やはり教育も受けさせたい、大学にも行かせたいと考えると、お金もかかるので、結婚にさえ踏み切れないという人もいると思うんです。結婚しても、先を考えると一人でもいいかなと考えてしまう位です。何かそういったことに対しても施策があればいいと思う。

(島田委員) やはり人口の問題となるとピラミッド型が一番の理想なんですね、けれども、働き口が少ないから、若い人が少ない、余計に子どもも少なくなる。やはり、若い人を増やすようにがんばって、そこで、子どもを生み、育てやすい環境を作っておけると、いい人口の形態になっていくのではないかなと。「育てやすい」の前に「生みやすい」環境づくりが必要。

(只野委員) 「推進します」という言葉が多いので、少しわかりにくい部分があるのかなという気がする。実行する際の方向付けがもう少し必要。

(竹村部長) その点について、この後それぞれの目標の下に主な施策というのが、いまそれぞれの担当課とも調整しているのですが、入ってきます。それを、見ていただければ、もう少し、具体的なイメージをお持ちいただけるのかなと思う。

(島田委員) それではそろそろ、46ページの「男女共同参画と国際交流」の項目について、男女共同参画は、このような方向で良いのではないかとと思いますが、各委員の意見を伺いたい。

(丹井田委員) 市内に外国人が200人位いるとは知らなかったもので、そういう人たちを活用していったほうが良いと思います。市の審議会などにも入って頂いて、意見を聞くようにしたらいいと思います。

(島田委員) 外国人の方と話すと、案内板が外国人にも対応していないので、まちの様子がわかりづらいとの指摘があります。外国語表記を併記した案内看板が必要ではないかと。

(佐々木委員) 私が勤務する専門学校でも、アイエルティ(ILT)事業で英語圏から外国人の講師を呼んで学んでいます。昨年、地域の子供などを対象に英会話教

室を開きました。市の広報に載せていただき募集しましたが、以外と参加者が少なかった。地域の皆さんには、この機会を積極的に活用して楽しみながら学んで欲しいと思います。

(丹井田委員) 体験学習というのが必要だと思います。水辺で憩うというところがありました。実際に川の中に入って、観察し触れ合うという事が重要で、科学面やスポーツ面での体験の場づくりというのが、書かれていないと思う。小さな川で、クレイソンを見たり遊ぶようなところが無くなってきていますが、まだまだ残されていると思う。

(中村委員) 私の子どもは、島松小学校なんです。毎年、柏木川に入って学習というか、体験しています。

(丹井田委員) 柏木川は、上流のほうで河川改修がはいつてるんですが、昔ながらの小川というところがいいんですが。

(島田委員) 茂漁川なんかはどうですかね、あすこは、結構綺麗だし、魚も釣れるし。やはり、そういう小さい川で遊んで、自然に親んでもらえれば、子どもたちにもいいですけどね。それでは、そろそろ、5ページに戻って、将来のまちの姿について話をしたいと思います。おそらく我々の部会で関連するのは、「子育てしやすい暮らし豊かな心のかようまち」だと思います。基本目標では2「安心して健康に暮らし子どもを大切にすまちづくり」3「学ぶこころと元気なからだを育むまちづくり」になります。この辺の表現は、一通り個別の目標を見てきましたが、いかがでしょうか。前回では、子育てに特化しすぎているのではないかと言う意見もありましたが、この、将来像のなかには障害があるかたも、お年よりも含まれると言うことで。

(鏡委員) 少子化を考えて、若い人口を増やしたいということを見ると、子育てしやすいというのが残ってもいい気がしますけれども。

(橋本委員) このままで、いいのではないかと言う気がします。子どもたちに豊かな心が少ないということで、豊かな心というのは外さないで欲しいと思います。

(高島委員) 暮らし豊かなの暮らしは省いたほうが、意味も損なわないし、言いやすく、通りがいいような気がします。「子育てしやすい豊かな心のかようまち」となったほうがいいのかなと。

(島田委員) たくさんのことを短い言葉で表現しなくてはいけないので、なかなか難しいのかなと。どうでしょうか、ここは宿題ということにして、皆さん考えてきていただいて、次回のときにまたぶつけてみるというのは。よろしいですか。次回の予定はどうなっていますでしょうか。あと、この2回の部会で話したことは、反映されるんですね。あすこを変えてくださいとか。

(吉田主査) 次回についてですが、総合調整部会を今月中にやって、全体会を7月の初めに行いたいと思っています。そのときに基本計画検討案を示したいと考えております。具体的な日程はまた、調整させていただきますのでお願い致します。

(島田委員) あと何か他にもありましたら。

(只野委員) 前回は言いましたが、もう一度確認したいんですが、「個性豊かな芸術

文化を築いていきます」のところに「資質の高い」と言う文言をぜひとも入れてください。あれもこれも変なものも一応個性だから、良い芸術文化を残して欲しいので。

(島田委員) それでは、他に無ければ、これで、第3回総合計画審議会の教育福祉部会を終了します。

会議終了 16:28